

《基本目標1》男女問わず希望どおり働くことができる”いが“にする  
ライフシーン・ライフステージごとの支援①【就職する・はたらく】

政策	1-①	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備
----	-----	---------------------

概要  
地域経済を活性化させ、雇用を創造するには、地域の特性を踏まえた「戦略的な」取組を進めていく必要があります。  
三重県の「みえ産業振興戦略」を勘案するとともに、「地域経済分析システム（RESAS）」を活用しながら、地域の多様な主体の知見を広く取り入れるなど、戦略的な取組を企画・実施できる体制づくりを目指します。  
また、総合戦略の策定後は、客観的データに基づく分析を行うなど、経済・雇用関連施策のPDCAサイクルを確立します。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビックデータ等の活用不足</li> <li>●経済・雇用分野での部課横断的な検討体制の不足</li> <li>●経済・雇用分野での各主体と連携した戦略的な取組の不足</li> </ul>	取組の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の主体と連携したPDCAサイクルの確立</li> <li>○経済・雇用分野における戦略的な企画・立案体制の構築</li> </ul>
----	---	-------	--

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	ア. 伊賀市まちづくりアンケート政策満足度の平均値	ア. 19.0%(H26)	ア. 25.0%(H31)
確認方法	ア. 伊賀市まちづくりアンケートの実施	確認時期	ア. 翌年度7月頃

施策(1) 地域の主体が連携した総合戦略策定・推進体制の整備

KPI検討指標 伊賀市まちづくりアンケート政策満足度の平均値

事業例

- ・ 伊賀市まち・ひと・しごと創生推進事業 (PDCAサイクル)
- ・ 伊賀市まち・ひと・しごと創生連携・参画推進事業 (地域の各主体との連携、参画の促進)

《基本目標1》男女問わず希望どおり働くことができる”いが“にする  
 ライフシーン・ライフステージごとの支援①【就職する・はたらく】

政策	1-②	地域産業の競争力強化(業種横断的取組)
----	-----	---------------------

**概要**

経済がグローバル化し、地域間・企業間の競争が激化する中、多様化するニーズを的確にとらえた付加価値の高い商品・サービスを創出することが求められています。

産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」等の活用により、本市の主要産業である製造業における商品の高付加価値化を図るとともに、成長が見込まれる医療、福祉分野への市内企業の参入拡大を推進します。

また、本市には全国に誇れる数多くの産品が存在します。これらを「伊賀ブランド」として確立することにより、新たな販路を開拓するしくみをつくります。

市民の価値観の多様化・高度化が進む中、行政だけではニーズに合ったきめ細かなサービスの提供が困難なため、地域社会の抱える課題の解決につながるビジネスにチャレンジする地域住民や企業、団体等を育成する必要があることから、資金調達や起業相談をはじめとしたソーシャルビジネス・コミュニティビジネスに取り組む団体等へ支援など、内発型の産業の活性化を図り、多様な就業形態に対応した雇用を創出します。

課題	●地域内産業競争力の低下	取組の視点	○高付加価値を生み出す仕組みづくり ○内発型産業の創出
----	--------------	-------	--------------------------------

	現状値(基準年)  目標値(基準年)		
KPI指標	ア. 新規事業所数	ア. 95事業所 (H26)	ア. 120事業所 (H30)
確認方法	ア. 三重県の市町民経済計算	確認時期	ア. 翌々年度末

施策(1) 地域産業の高付加価値化

---

KPI検討指標 製造業に係る付加価値額

---

事業例

- ・ 産学官民連携・交流推進事業
- ・ 技術相談・研究開発の促進
- ・ 伊賀ブランド推進事業

施策(2) コミュニティビジネスなどの起業の普及啓発と支援

---

KPI検討指標 コミュニティビジネスやソーシャルビジネスなどの起業数

---

事業例

- ・ 起業活動支援事業
- ・ 個店魅力創出事業
- ・ 起業支援型地域雇用創出事業

《基本目標1》男女問わず希望どおり働くことができる”いが“にする  
ライフシーン・ライフステージごとの支援①【就職する・はたらく】

政策	1-③	地域産業の競争力強化(分野別取組)
----	-----	-------------------

**概要**

地域の雇用を安定して維持していくためには、特定の業種に過度に偏らない強じんな多様な産業構造の構築が必要です。  
第1次再生計画に「重点プロジェクト」として位置づけている『観光・農林業連携プロジェクト』における5つの取組を地域の多様な主体と連携し実施することにより、観光分野・農林業分野の産業を強化し、本市の主要産業である製造業とのバランスの取れた産業構造を目指します。  
また、政策1-①による地域の特性を踏まえた経済・雇用分野における戦略や企画に基づき、地域産業の強化・雇用の創出につながる新たなプロジェクトや施策の実施を推進します。

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政と民間の横断的な受け入れ体制の不足</li> <li>●農林業の活力低下</li> </ul>	<b>取組の視点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受入れ事業主体となる人材育成のための着地型観光の推進</li> <li>○農林業の活性化</li> </ul>
-----------	---	--------------	---

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
<b>KPI指標</b>	ア. 着地型観光の事業主体数 イ. 農業産出額(粗生産額)	ア. 81団体(H27) イ. 1,086千万円(H18)	ア. 100団体(H31) イ. 1,086千万円(H31)
	<b>確認方法</b>	<b>確認時期</b>	ア. 当該年度 イ. H31年度末

**施策(1) 市内全域の魅力アップと「おもてなし」の仕組みづくり**

**KPI検討指標** 着地型観光の事業主体数

**事業例**

- ・ 着地型観光を推進するための事業主体の育成

**施策(3) 森林の整備と住民の取組**

**KPI検討指標** 認定林業体等森林経営計画作成面積カバー率

**事業例**

- ・ 間伐等の森林施業の促進
- ・ 木材の利用促進
- ・ 担い手の育成支援と森林施業地の団地化の促進
- ・ 荒廃した里山や竹林の再生

**施策(2) 持続可能な農業の推進**

**KPI検討指標** 人・農地プラン作成集落カバー率

**事業例**

- ・ 農商工連携の推進
- ・ 食材フェア開催事業
- ・ 伊賀産食材販路拡大事業
- ・ あげぼの学園高校とのコラボ商品開発支援事業
- ・ 集落営農等への支援
- ・ 人・農地プランの推進
- ・ 農業経営基盤強化促進
- ・ 肉牛肥育増頭支援事業
- ・ 鳥獣害防止対策への支援
- ・ 高付加価値化の促進
- ・ 土地改良事業への支援

《基本目標1》男女問わず希望どおり働くことができる”いが“にする  
ライフシーン・ライフステージごとの支援①【就職する・はたらく】

政策	1-④	就業、人材育成支援、雇用のマッチング
----	-----	--------------------

**概要**

伊賀地域の雇用情勢は、有効求人倍率は改善の傾向にあるものの、労働力需給のミスマッチや非正規雇用の増加傾向がみられます。一方で、企業においては人材の流動化により、企業内での人材育成力が弱まり、人材の不足感が高まっていると言われています。

インターンシップや合同就職セミナーの充実及び大学進学を希望している高校生に対する地元企業の周知を図ることにより、地元企業への就職率を向上させるとともに、多様な就業形態を必要とする女性、障がい者、中高年齢者などが希望する仕事に就けるようにするための職業能力の開発や就業へのマッチング支援を行うことにより、就業率の向上を目指します。

また、人口減少に伴って増え続ける地域課題の解決や活力維持の観点から、地域産業（農・林・商・工業）における後継者や新たな担い手の発掘、人材育成（技術）を支援することにより、「地域をつくる人」を育てます。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●労働力需給のミスマッチ</li> <li>●人材育成力の低下</li> </ul>	取組の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就労支援体制の確立</li> <li>○人材育成支援</li> </ul>
----	---	-------	---

	現状値(基準年)	➔	目標値(基準年)
KPI指標	ア. 就業率		ア. 95.5%(H22)   ア. 96.0%(H32)
確認方法	ア. 国勢調査	確認時期	ア. 翌々年度

**施策(1) 働く人の意欲に応える多様な就業・雇用の促進**

KPI検討指標 伊賀公共職業安定所管内の就職率

事業例

- ・ 高齢者・障がい者・女性の就業支援
- ・ 企業内での人材育成等促進

**施策(2) 若年無業者の職業的自立への支援**

KPI検討指標 就労支援により若年者が就業に結びついた割合

事業例

- ・ 若者の職業的自立支援

**施策(3) 若者の地元雇用に向けた就業支援**

KPI検討指標 合同就職セミナーがきっかけで就職に結びついた件数

事業例

- ・ 合同就職セミナー
- ・ 産業用地の確保

**施策(4) 地域の人材育成の促進**

KPI検討指標 インターンシップ受入企業・事業所数

事業例


- ・ 人材育成の推進及び支援

《基本目標1》男女問わず希望どおり働くことができる”いが“にする  
ライフシーン・ライフステージごとの支援①【就職する・はたらく】

政策	1-⑤	ICT等の利活用による地域の活性化
----	-----	-------------------

**概要**  
本市は市全域において民間ケーブルテレビ会社によるブロードバンド網が整備されていることや、地理的に近畿圏と中部圏のほぼ中央に位置し、名阪国道が市の中央を通っていることなどから、次世代物流システムなどICT産業の拠点としての可能性を有しているといえます。また、重点施策である観光分野においても、近年増加する外国人観光客への対応などにおいて、ICTの利活用が新たなビジネスや付加価値をもたらす可能性は高いといえます。このように、ICTの戦略的な利活用が地域産業にもたらす効果については、非常に高い可能性を秘めているといえることから、今後の各施策、事業の実施・検討において「ICTの利活用」を一つの重要な視点として掲げておくことにより、新たな付加価値や効率化をもたらす、地域経済の活性化や雇用の創出につなげることを目指します。

課題	●各分野の取組における「ICTの利活用」の視点の不足	取組の視点	○基本目標 I におけるそれぞれの取組の実施・検討において、「ICTの利活用」を一つの重要な視点として位置づける。
----	----------------------------	-------	---

			
KPI指標	ア. 基本目標 I における各施策に対する「ICTの利活用の視点」の設定率	現状値(基準年) ア. 0%(H26年)	目標値(基準年) ア. 100%(H31)
確認方法	ア. 本戦略における基本目標 I に掲げる各施策の評価	確認時期	毎年度の施策評価時点

**施策(1)**  
総合戦略に掲げる各取組におけるICTの利活用の推進

**KPI検討指標**  
基本目標 I における各施策に対する「ICTの利活用の視点」の設定率

**事業例**  
・ 基本目標 I における各施策において実施する事業

《基本目標2》安心して子どもを産み、育てることができる“いが”にする  
ライフシーン・ライフステージごとの支援②【出会う・結婚する・産む・育てる】

政策	2-①	結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
----	-----	-------------------------

**概要**  
核家族化の進行などにより、妊娠から出産、子育てについて不安や悩みを感じている人が増加しています。相談体制の充実や経済的な負担の軽減など、切れ目のない総合的な支援を行うことにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えます。  
また、「出会いがない」「理想の相手に出会えていない」と感じる未婚者の割合が高いことから、民間企業や商工会議所などと連携し、出会い・結婚サポートに関する取組を検討します。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てに関して不安や悩みを感じる人の増加</li> <li>●出会いの場が少ないことによる未婚率の上昇</li> </ul>	取組の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠から出産、子育てに至るまでの不安や悩みの解消</li> <li>○出会いの場の機会拡大</li> </ul>
----	--	-------	--

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	ア. 安心して子どもを産み、育てられるまちづくりに対する満足度	ア. 28.2% (H26)	ア. 40.0% (H31)
	イ. 子どもが充実した教育を受けられるまちづくりに対する満足度	イ. 24.5% (H26)	イ. 30.0% (H31)
	ウ. 若年世代(20~39歳)の未婚率	ウ. 49.32% (H22)	ウ. 47.0% (H32)
確認方法	ア. イ. 伊賀市まちづくりアンケート(市民意識調査) ウ. 国勢調査	確認時期	ア. イ. 翌年度7月頃 ウ. H32年実施調査年度末

**施策(1) 子育て支援事業の充実**

**KPI検討指標**

- ・ 安心して子どもを産み、育てられるまちづくりに対する満足度
- ・ 子どもが充実した教育を受けられるまちづくりに対する満足度

**事業例**

- ・ 子ども医療費助成の拡大(中学生通院)
- ・ 第3子以降保育料無料化
- ・ 子ども発達相談事業 ・ 母子自立支援事業
- ・ 子育て相談員派遣事業
- ・ 放課後児童の健全育成の充実
- ・ 母子健康診査事業 ・ からだそだて事業
- ・ 地域で見守りおやこ防災事業

**施策(2) 出産前後からの親子支援**

**KPI検討指標**

- ・ 安心して子どもを産み、育てられるまちづくりに対する満足度

**事業例**

- ・ 不妊治療助成事業
- ・ 産前教育の実施(ウエルカム教室など)
- ・ 乳幼児の育成指導事業
- ・ ブックスタート事業
- ・ 産後ケアの充実(母子保健コーディネータの育成など)
- ・ 育児ヘルパー派遣事業

**施策(3) 結婚サポート事業**

KPI検討指標 若年世代の未婚率

事業例 ・ 結婚サポート事業



《基本目標2》安心して子どもを産み、育てることができる“いが”にする  
ライフシーン・ライフステージごとの支援②【出会う・結婚する・産む・育てる】

政策	2-②	ワークライフバランスの実現(働き方改革)
----	-----	----------------------

概要	<p>みえ県民意識調査によると、父親の育児参画に対する考え方について、若い世代ほど積極的な参加を希望しています。</p> <p>市内事業者に対する仕事と家庭生活の両立支援を推進することや、男女問わず子育てを担うことができる雰囲気や環境があると思えるまちづくりを目指すことにより、若い世代が望むワークライフバランスを実現します。</p>
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●父親の育児参画に対する事業所側の協力が不十分</li> <li>●女性の社会的地位が低い</li> </ul>	取組の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業所側の意識改革</li> <li>○性別役割分担意識の払拭</li> </ul>
----	---	-------	--

		現状値(基準年)  目標値(基準年)		
KPI指標	ア. 仕事をしながら、子育てや介護など家庭の事情に応じて希望する形で家族で過ごす時間が取れている人の割合	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア. 今年度(H27)内に調査</td> <td style="width: 50%;">ア. 現状値の2%アップを目指す(H31)</td> </tr> </table>	ア. 今年度(H27)内に調査	ア. 現状値の2%アップを目指す(H31)
ア. 今年度(H27)内に調査	ア. 現状値の2%アップを目指す(H31)			
確認方法	ア. 伊賀市まちづくりアンケート(市民意識調査)	確認時期 ア. 翌年度7月頃		

施策(1) ワークライフバランスの推進

KPI 検討指標

子育てや介護が男女を問わずできるような雰囲気や環境があると思う市民意識の割合

事業例

- ・ 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- ・ 女性リーダー養成事業
- ・ 男女共同ネットワーク会議の活動の充実
- ・ 事業者に対する両立支援推進事業
- ・ 男性の家事自立をめざす講座開催事業
- ・ 「イクボス」養成事業

《基本目標3》生涯住み続けたいと思える“いが”にする  
 ライフシーン・ライフステージごとの支援③【学ぶ・住む・健康に過ごす】

政策	3-①	協働によるまちづくりと交通ネットワークの整備
----	-----	------------------------

**概要**  
 本市には全国に先駆けて取り組んでいる自治基本条例に基づく市民主体によるまちづくりのしくみがあります。中山間地域におけるコミュニティの維持など各地域の課題に対して、住民自らが責任を持ち、自ら考えることにより解決していくため、行政をはじめ各機関が連携しサポートするしくみを推進することにより、地域の活力を維持し持続可能な地域を形成します。また、それらの地域をつなぐ交通インフラの維持に向けて、利用促進施策の実施や各種交通機関の効率的、効果的な運用・支援に取り組みます。

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域まちづくり計画の進行管理ができていない</li> <li>●包括交付金の見直しできていない</li> <li>●地域活動支援事業(協働促進支援)の活用が少ない</li> <li>●鉄道、バスの利用者が少なく、路線の維持等に経費がかかっている</li> </ul>	<b>取組の視点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域まちづくり計画の進行管理シートを作成し、地域課題の解決に向けたしくみを推進する</li> <li>○包括交付金の見直し</li> <li>○地域活動支援事業の推進</li> <li>○伊賀市地域公共交通網形成計画に基づく交通施策の推進</li> </ul>
-----------	---	--------------	--

現状値(基準年) 目標値(基準年)

<b>KPI指標</b>	ア. 地域まちづくり計画の進行管理シートの活用 イ. 包括交付金の見直し ウ. 地域活動支援事業(協働促進事業)の推進 エ. 公共交通機関の利用者数 i. 関西本線市内5駅の1日当たり利用者数 ii. 伊賀線の利用者数 iii. 行政バスの利用者数	ア. 0件(H27) イ. - (H27) ウ. 2件(H27) エ. (H26) i. 1,511人 ii. 1,517,000人 iii. 23,617人	ア. 38件(H31) イ. 見直し(H28) ウ. 10件(累計)(H31) エ. 現状値を上回る(H31)
<b>確認方法</b>	ア. 進行管理シートの活用 イ. 包括交付金の見直し ウ. 地域活動支援事業の協働事業ができた件数 エ. 各交通事業者による実績報告	<b>確認時期</b>	翌年度

**施策(1)**  
 市内幹線道路・生活道路の整備

---

**KPI検討指標** 市道改良率

---

**事業例**  
 ・社会資本整備総合交付金事業

**施策(2)**  
 道路環境の維持・向上

---

**KPI検討指標** 橋梁修繕対策実施率  
 (橋長15m以上の橋梁)

---

**事業例**  
 ・橋梁修繕事業及び幹線市道の維持補充事業



施策(3)  
交通政策の計画的な推進

KPI検討指標 交通計画施策の着手

事業例

- ・伊賀市交通計画推進事業
- ・地域公共交通運営事業
- ・新しい交通システムの導入検討

施策(4)  
安定的で持続可能な交通サービスの提供

KPI検討指標

上野コミュニティバス年間輸送人員  
廃止代替バス年間輸送人員  
伊賀線年間輸送人員

事業例

- ・伊賀鉄道活性化促進事業
- ・自主運行バス運行事業
- ・地域交通対策事業

施策(5)  
協働意識の醸成

KPI検討指標 ボランティアや市民活動等に参加している市民の割合

事業例

- ・自治基本条例推進事業
- ・協働の環境づくり

施策(6)  
住民自治協議会の支援体制づくり

KPI検討指標 地域まちづくり計画の達成度

事業例

- ・地域包括交付金の見直し
- ・地域担当職員制度

施策(7)  
自治センター化の体制づくり

KPI検討指標 地区市民センターを指定管理した件数

事業例

- ・地区市民センターの自治センター化
- ・第三次地区市民センター整備計画

施策(8)  
多様な主体で担う公共のしくみづくり

KPI検討指標 伊賀市自治基本条例の見直し

事業例

- ・伊賀市自治基本条例の見直し

施策(9)  
地域内分権を支える支所機能の充実

KPI検討指標

事業例

- ・地域支援事業(仮称)
- ・地域振興推進事業(仮称)

《基本目標3》生涯住み続けたいと思える“いが”にする  
 ライフシーン・ライフステージごとの支援③【学ぶ・住む・健康に過ごす】

政策	3-②	中心市街地の活性化(機能強化、魅力の発掘・発信、交流人口の増加)
----	-----	----------------------------------

**概要**  
 城下町のたたずまいを残す本市の中心市街地は、歴史や文化の集積地であるとともに、市内地域核との交流の拠点となります。ハイトピア伊賀や駅前広場などの拠点施設をはじめ、まちなみの保全、町家の利活用など区域の資源を活かした伊賀の魅力発信を行い、地域商業を守り育てるとともに、市内地域核との連携による新たな起業の場・機会を提供するなど雇用の創出を図り、定住人口の確保と交流人口の増加につなげます。  
 そのためには、まちづくり会社や中心市街地活性化協議会などと連携し、官民一体で取り組む必要があります。

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中心市街地と周辺地域との交流の希薄化</li> <li>● 空き店舗の増加による商業基盤の低下、商店数の減少</li> <li>● 空き家・空き地の増加による街並みのくずれ</li> </ul>	<b>取組の視点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 魅力ある中心市街地と地域核とを結ぶ交通網の整備</li> <li>○ 空き家・空き店舗を活用した魅力ある店舗の創出、新たな起業支援</li> <li>○ 城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成</li> </ul>
-----------	--	--------------	---

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
<b>KPI指標</b>	ア. 歩行者・自転車通行量(人) イ. 商業活性化重点軸(上野市駅前及び本町通周辺)の小売年間販売額	ア. 4,096人(H26) イ. 2,513百万円(H25)	ア. 4,300人(H31) イ. 2,515百万円(H31)
<b>確認方法</b>	ア. 歩行者・自転車通行量調査 イ. 小売年間販売額調査	<b>確認時期</b>	ア. 年度末(3月末) イ. 翌年度8月頃

**施策(1) 魅力ある中心市街地づくり**

KPI検討指標 マルシェの来場者数

事業例

- ・中心市街地活性化事業
- ・駅前広場を活用したマルシェ開催事業

**施策(2) 城下町の景観を守り活かす体制づくり**

KPI検討指標 景観修景助成件数

事業例

- ・街なみ環境整備事業(景観修景助成事業)

**施策(3) 個店の機能強化と商店街機能の充実**

KPI検討指標 商店街加盟商店数

事業例

- ・個店魅力創出事業
- ・中心市街地等商店活性化事業

**施策(4) 地域核を結ぶ交通網の再編**

KPI検討指標 伊賀線年間輸送人員  
コミュニティバス年間輸送人員

事業例

- ・伊賀鉄道活性化促進事業
- ・自主運行バス運行事業
- ・地域交通対策事業

《基本目標3》生涯住み続けたいと思える“いが”にする  
 ライフシーン・ライフステージごとの支援③【学ぶ・住む・健康に過ごす】

政策	3-③	健康で、安心な医療・介護が受けられ、誰もが自分らしく暮らせるまちづくり
----	-----	-------------------------------------

概要 全ての市民が心身ともに健康で自分らしく暮らし続けるため、保健・医療・福祉分野の専門職が連携し、必要な医療・介護が必要な時期に必要なサービス量が提供される体制を目指します。また、市民の健康意識を醸成し、健康づくりや介護予防などに関する諸活動を促進することにより、健康寿命の延伸を図ります。

課題	●全国平均よりも健康寿命が短い	取組の視点	○ライフステージごとの生活習慣病などへの取組
----	-----------------	-------	------------------------

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	ア. 伊賀市の健康寿命	ア. 男性 81.83歳 女性 85.26歳	ア. 男性 82.52歳 女性 85.94歳
確認方法	ア. 第3次地域福祉計画に基づく健康寿命の算定方法	確認時期	毎年度 10月

**施策(1) 市民主体の健康づくりを支援する体制づくり**

KPI検討指標 医師会、民間団体と連携し、取り組んだ健康づくり事業等の回数

事業例  
・自助・共助・公助協働による健康づくり推進事業

**施策(2) 市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり**

KPI検討指標 市民の健康感

事業例 ・健康づくり推進事業

**施策(3) 疾病等の早期発見・早期治療につながる体制づくり**

KPI検討指標 要精密検査で早期に胃がんが発見された人の割合

事業例 ・健康診査(二次予防)事業

**施策(4) 地域医療の充実**

KPI検討指標 夜間・休日における二次救急実施病院受入率

事業例  
・二次救急医療体制の確保  
・応急診療所の運営  
・医師の確保

**施策(5) 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり**

KPI検討指標 介護サービス利用率

事業例  
・介護予防普及啓発事業  
・認知症施策総合推進事業  
・保健・医療・福祉の連携体制構築事業

《基本目標3》生涯住み続けたいと思える“いが”にする  
 ライフシーン・ライフステージごとの支援③【学ぶ・住む・健康に過ごす】

政策	3-④	人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化
----	-----	---------------------------

**概要**  
 本市は「他市と比較して施設の保有量が多く、老朽化が進行している」「人口減少と少子高齢化が一層進行していく」「施設の更新費が増大していく」という現状認識の下、「公共施設最適化方針」に基づく「公共施設最適化計画」により、3R(Reduce:総量の縮減、Remix:機能の複合化、Run:運営の適正化)の考え方に立った施設の最適化を図りながら、新たな施設の整備においてはPPP/PFI等による効率化に向けた幅広い検討を行っていきます。  
 また、市内の空き家問題等の民有資産における課題に対して、空家対策特別措置法の施行に伴う地域生活環境の維持保全の観点からの取組に加え、空き家バンク制度やリノベーション支援など利活用に向けた部課横断的な体制づくりや新たな施策の検討を行います。

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●合併に伴う類似・余裕施設の老朽化</li> <li>●適切な管理の行われていない空き家の増加</li> </ul>	<b>取組の視点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設の総量縮減</li> <li>○空き家対策の推進</li> </ul>
-----------	---	--------------	---

		現状値(基準年)	➔	目標値(基準年)
<b>KPI指標</b>	ア. 公共施設の統廃合に関する市民満足度	ア. 10.8%(H27)		ア. 15.0%(H31)
	イ. 適切な管理の行われていない空き家数	イ. 今年度調査予定		イ. 〇割減
<b>確認方法</b>	ア. 伊賀市まちづくりアンケート(市民意識調査)	<b>確認時期</b>	ア. 翌年度7月	
	イ. 空家実態調査		イ. 平成30年度末	

**施策(1) 市民の財産として継承する持続可能な公共施設マネジメント**

KPI検討指標 公共施設最適化計画による縮減面積

事業例 ・公共施設マネジメント事業

**施策(2) 空き家等の適正管理の推進**

KPI検討指標  
対策を要する建築物等の改善割合

事業例 ・空き家対策推進事業

**施策(3) 空き家の利活用の推進**

KPI検討指標  
空家情報バンクへの登録件数(累計)

事業例 ・空き家情報バンクの充実

《基本目標3》生涯住み続けたいと思える“いが”にする  
 ライフシーン・ライフステージごとの支援③【学ぶ・住む・健康に過ごす】

政策	3-⑤	広域的な連携による経済・生活圏(ビッグ伊賀)の再形成
----	-----	----------------------------

概要  
 人口減少社会において、すべての都市機能を1つの自治体で保有することが難しくなっていることから、広域的な視点により、複数の自治体で都市機能の役割分担を行いながら、圏域全体で人口のダム機能を保持する必要があります。  
 これまでから取り組んでいる名張市との広域行政連携に加え、伊賀市・甲賀市・亀山市広域連携推進会議(いこか連携推進プロジェクト)における取組や、本市を中心市とする定住自立圏の形成推進など、近隣自治体との連携を強化し、圏域での人口減少対策に取り組めます。

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●すべての都市機能を1つの自治体で保有することが難しくなっている。</li> <li>●都道府県、市町村間の行政界の垣根</li> </ul>	取組の視点 <ul style="list-style-type: none"> <li>○広域的な視野に立ち、近隣自治体間で人口のダム機能を保持する</li> <li>○行政区域を越えた交流・連携</li> </ul>
----	--	--

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	ア. 近隣自治体間の交流人口(通勤・通学流動数)	ア. 通勤流出 4,787人 通勤流入 9,990人 通学流出 1,036人 通学流入 666人 計 16,479人(H22)	ア. 通勤流出 4,787人 通勤流入 9,990人 通学流出 1,036人 通学流入 666人 計 16,479人(H27、32)
確認方法	ア. 国勢調査	確認時期	ア. 平成27、32年調査

施策(1) 広域的な連携による行政の運営

KPI検討指標 定住自立圏共生ビジョンに基づく事業数

- 事業例
- ・ 広域行政推進事業
  - ・ 定住自立圏の形成促進
  - ・ いこか連携事業

《基本目標3》生涯住み続けたいと思える“いが”にする  
ライフシーン・ライフステージごとの支援③【学ぶ・住む・健康に過ごす】

政策	3-⑥	住民が地域防災の担い手となる環境の確保
----	-----	---------------------

概要  
人口減少、高齢化社会の進展に伴う、災害等に対する地域コミュニティの弱体化が課題となっており、地域の消防団や自主防災組織の役割が重要性を増しています。ICTなどの新しい技術や伊賀流自治のしくみを活用しながら、住民による地域の防災体制を維持・向上させることにより、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

課題	●人口減少、高齢化等による災害等に対する地域コミュニティの弱体化 ●地域住民の担い手不足	取組の視点	○地域住民による地域防災体制の維持・向上 ○消防団や自主防災組織の組織力の向上
----	---	-------	--

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	ア.「自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせる」と思う市民の割合	26.9%(H27)	30.0%(H31)
確認方法	ア. 伊賀市まちづくりアンケート(市民意識調査)	確認時期	翌年度7月

施策(1)  
さまざまな災害を想定した体制づくり

KPI検討指標  
あんしん・防災ネット登録者数

事業例  
・伊賀市地域防災計画の見直し

施策(2)  
災害時に援護や配慮が必要な人たちを支援する体制づくり

KPI検討指標 避難行動要支援者名簿  
情報提供同意率

事業例 ・避難行動要支援者支援事業

施策(3)  
災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進

KPI検討指標  
孤立地区への通信手段整備率

事業例 ・孤立地区通信手段整備事業

施策(4) 消防団を中核とした、地域住民や自主防災組織等の連携による地域防災力の充実強化

KPI検討指標 消防団員の確保

事業例  
・消防団整備事業  
・消防ポンプ等整備事業



《基本目標3》生涯住み続けたいと思える“いが”にする  
 ライフシーン・ライフステージごとの支援③【学ぶ・住む・健康に過ごす】

政策	3-⑦	文化スポーツ振興、生涯学習環境と郷土愛の醸成
----	-----	------------------------

**概要**  
 本市に「住み続けたい」という意識を醸成するためには、「伊賀を好きと思い、伊賀を誇れる知識や地域社会への関心を持つこと」が重要です。そのため、市内公立小中学校においては、伊賀の自然、歴史、文化を体系的に学ぶ「ふるさと教育」の充実を図り、生涯学習においても、「ふるさと伊賀」を深く学ぶ機会を創出し、地域づくりを担う人材の養成を図ります。また、知識・情報の拠点として市民が気軽に集い、交流できる新しい図書館を整備します。  
 外国人比率が高い当市の特性に応じ、多文化共生社会の推進のための拠点施設整備や外国人が地域の一員として参画できる体制づくりを進めます。  
 俳聖芭蕉生誕の地として、世界に向けた情報発信拠点の整備を図るとともに、伊賀ならではの文化事業を推進します。また、他地域に誇れる市内スポーツ活動の支援や当市を会場として開催される第76回国民体育大会への取組を進めます。

<b>課題</b>	●「ふるさと教育」教材の整備 ●教育カリキュラムの作成と指導者研修 ●地域づくりを担う人材育成のための知識・情報・交流の拠点の整備	<b>取組の視点</b>
		○郷土愛、帰属意識の醸成を踏まえた各事業への取り組み

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
<b>KPI指標</b>	ア.「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童・生徒の割合 イ.「生涯にわたって学びの機会がもてる」に対する市民満足度 ウ.「文化活動やスポーツ活動が活発である」に対する市民満足度 エ.「文化の違いを尊重し、多文化が共生する」に対する市民満足度	ア. 小6 45.3%(H26) 中3 36.9%(H26) イ. 18.0%(H26) ウ. 32.9%(H26) エ. 22.2%	ア. 小6 55%(H31) 中3 50%(H31) イ. 25.0%(H31) ウ. 40.0%(H31) エ. 30.0%(H31)
	<b>確認方法</b>	ア. 全国学力・学習習熟度調査(質問31) イ. ウ. エ伊賀市まちづくりアンケート(市民意識調査)	<b>確認時期</b> ア. 毎年度8月末(全国学力調査公表時) イ. ウ. エ毎年度7~8月(市民意識調査実施時期)

**施策(1)**  
 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり

**KPI検討指標**  
 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合

**事業例**  
 ・魅力ある学校づくり推進事業(学校マニフェスト推進事業など) ・教職員研究研修事業

**施策(3)** 生涯学習活動の推進

**KPI検討指標**  
 生涯学習セミナー内容についての満足度

**事業例**  
 ・生涯学習推進事業  
 ・社会教育推進事業 ・成人式開催事業  
 ・生涯学習(地域づくり)大学設置

**施策(2)** 郷土教育の充実

**KPI検討指標** 「地域や社会をよくするために何をすべきかよく考えることがある」児童・生徒の割合

**事業例**  
 ・郷土教育教材作成事業  
 ・郷土教育指導者研修事業

**施策(4)** だれもが利用しやすい図書館の充実

**KPI検討指標** 図書貸出冊数

**事業例**  
 ・知識・情報・交流拠点施設の整備事業  
 ・図書館ネットワーク構築事業  
 ・図書館活動充実事業

施策(5)  
子どもの読書活動を推進するための体制づくり

KPI検討指標  
児童書の貸出回数

事業例  
・読み聞かせボランティア育成、支援事業

施策(7)  
公民館活動の活性化と育成

KPI検討指標 地区公民館施設利用回数

事業例 ・公民館活動推進事業

施策(6)  
青少年健全育成を推進するための体制づくり

KPI検討指標  
伊賀市青少年育成市民連絡会議推進大会

事業例 ・放課後子ども教室推進事業

施策(8)  
多文化共生施策の充実と推進体制の整備

KPI検討指標 外国人住民が住んでよかったと感じる割合

事業例  
・多文化共生推進事業  
・多文化共生拠点施設整備事業

施策(9)  
豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚

KPI検討指標  
市民美術展覧会応募者数  
市民文化祭参加者数

事業例 ・文化振興事業

施策(12)  
歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ

KPI検討指標 『伊賀市史』の販売数

事業例  
・伊賀市史編さん事業  
・史跡等文化財保存整備事業  
・伊賀国庁跡公有化事業  
・史跡等文化財環境整備事業  
・歴史まちづくり事業  
・文化財調査・保存事業

施策(10)  
市民の身近で充実した文化施設

KPI検討指標  
文化施設の来館者数

事業例 ・文化施設の改善

施策(13)  
だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興

KPI検討指標  
参加者数

事業例 ・スポーツ活動の促進事業  
・オリンピックキャンプ地誘致活動事業  
・スポーツ施設整備事業  
・三重国体開催事業 2021(平成33)年 第76  
回国民体育大会の三重県開催に向けた準備

施策(11)  
芭蕉翁を核とした地域づくりの継承

KPI検討指標 芭蕉祭献詠俳句応募数

事業例 ・芭蕉翁顕彰と俳句普及事業  
・俳句のくにづくり拠点施設整備事業

《基本目標4》来たい・住みたいと思われる“いが”にする  
【移住・交流、シティプロモーションの推進】

政策	4-①	シティプロモーションの推進による新しい人の流れづくり
----	-----	----------------------------

概要	<p>本市への移住者・定住者を増加させるためには、まず伊賀市を知り、訪れる方を増やす必要があります。</p> <p>「観光立市」を掲げる本市は、食・歴史・文化をはじめ、全国に誇るべき多くの地域資源に満ちていることから、おもてなしの心や地域資源を再認識する気運を市民全体で醸成する取組を推進します。それらに加え、基本目標1～3の取組による伊賀市の「まち・ひと・しごと創生」のパッケージを戦略的に発信していくことにより、本市のイメージ向上を図り、交流人口の増加につなげます。</p>
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報発信ツールの活用不足</li> <li>● 行政と民間の横断的な受け入れ体制の不足</li> <li>● インバウンド受け入れ体制の不備</li> </ul>	取組の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報発信ツールの整備と活用</li> <li>○ 着地型観光の推進</li> <li>○ インバウンドの誘客を図るための情報発信と、観光案内及びWi-Fi環境の整備</li> </ul>
----	--	-------	--

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	ア. 伊賀市観光ホームページへのアクセス数 イ. 着地型観光事業の申込者数 ウ. 伊賀流忍者博物館の外国人入込客数	ア. 53,000(H26) イ. 1,531人(H26) ウ. 18,000人(H26)	ア. 80,000(H31) イ. 2,000人(H31) ウ. 25,000人(H31)
確認方法	ア. ホームページへのアクセス数カウント イ. 「いがぶら」の申込者数 ウ. 入館者数調査	確認時期	ア. イ. ウ. 翌年度

施策(1)  
観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR

KPI検討指標  
伊賀市観光ホームページへのアクセス数

- 事業例
- ・ 観光・物産情報の発信
  - ・ SNSなどを活用した市政情報の効果的な発信
  - ・ 三重県移住交流ポータルサイト「ええとこやんか三重」と連携した伊賀市の魅力発信事業
  - ・ シティプロモーションDVD作成事業
  - ・ 観光誘客促進事業
  - ・ 食材フェア開催事業【再掲】
  - ・ アンテナショップ運営事業
  - ・ 地域連携システム整備事業

施策(2)【再掲】  
市内全域の魅力アップと「おもてなし」の仕組みづくり

KPI検討指標 着地型観光の事業主体数

- 事業例
- ・ シティプロモーションの推進体制の整備
  - ・ 着地型観光推進事業
  - ・ 広域観光連携
  - ・ 外国人観光客誘客事業

施策(3) あらゆる分野における人的交流の促進

KPI検討指標

- 事業例
- ・ トップセールスの推進
  - ・ 伊賀市ふるさとサポーター制度・ふるさと応援寄附金制度の充実

《基本目標4》来たい・住みたいと思われる“いが”にする  
【移住・交流、シティプロモーションの推進】

政策	4-②	移住の促進
----	-----	-------

概要	<p>「交流」を「移住・定住」につなげていくためには、移住を希望する人が必要とする支援（ニーズ）を的確に把握し、情報を発信する必要があります。</p> <p>支援策を移住者のライフシーンごとに検討すると同時に、ワンストップ相談窓口を設置するなど、オーダーメイドの支援を行うことにより、移住者の増加につなげます。</p>
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報発信ツールの未活用</li> <li>●移住相談窓口未設置</li> </ul>	取組の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信ツールの整備と活用</li> <li>○移住相談窓口の設置・運営</li> </ul>
----	--	-------	---

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	<p>ア. 移住相談窓口の設置・運営</p> <p>イ. 移住相談後の移住件数</p>	<p>ア. 未設置(H27)</p> <p>イ. 0件(H27)</p>	<p>ア. 設置(H28)</p> <p>イ. 3件(H31)</p>
確認方法	<p>ア. 相談窓口の設置</p> <p>イ. 相談件数の集計</p>	確認時期	ア. イ. 翌年度

施策(1) 地域の人材育成の促進

KPI検討指標  
市民活動支援センターへの登録件数

事業例

- ・ 人材育成支援
- ・ 移住・交流推進事業

施策(2) 移住・定住促進のための体制づくり

KPI検討指標  
相談件数

事業例

- ・ 移住相談窓口(移住コンシェルジュ)の設置
- ・ 地域おこし協力隊員・集落支援員支援事業

《基本目標4》来たい・住みたいと思われる“いが”にする  
【移住・交流、シティプロモーションの推進】

政策	4-③	産学官民連携による知の拠点形成
----	-----	-----------------

概要	市内に三重大学との産学官民連携による研究拠点・活動拠点を有することから、これらの拠点施設を核として地域産業の強化や地域課題の解決に向けた取組に大学の研究者や学生が参画することにより、地域での新たな産業や雇用の創出を図ると同時に、これからの地域を担う若者の輩出を目指します。
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな地域課題が未発掘</li> <li>● 内発型産業の創出が弱い</li> </ul>	取組の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域課題に対応した調査研究</li> <li>○ 地域資源を活用した新たな商品やサービスの創出</li> </ul>
----	--	-------	---

		現状値(基準年)	目標値(基準年)
KPI指標	ア. 三重大学と連携した地域課題の解決に向けた取組件数	ア. 14回(H26)	ア. 15回(H31)
	イ. 技術の高度化、新製品、新技術の研究に向けた取組件数	イ. 14件(H26)	イ. 15件(H31)
確認方法	ア. 三重大学伊賀連携フィールド主催市民講座開催件数	確認時期	ア. イ. 翌年度
	イ. ゆめテクノ伊賀での共同研究件数		

施策(1) 地域産業の高付加価値化

KPI検討指標

- ・三重大学伊賀連携フィールド市民講座参加人数
- ・ゆめテクノ伊賀における研究開発・インキュベーション・人材育成に関する相談件

事業例

- ・三重大学伊賀連携フィールド推進事業
- ・ゆめテクノ伊賀を活用した研究開発・インキュベーション・人材育成の支援